

# どがむかひ 大田市で暮らし

大田市ふるさと情報誌

## VOL.28

2014.10



【作品（油絵）】「ポスト」廣山香奈子さん（大田高3年）  
大森町の町並みで描かれた作品です。

# 新大田市立病院の

## 建設に向けて

平成29年度の開院を目指し、新大田市立病院の建設準備が進められています。新病院では、より質の高い医療サービスの提供等が期待されています。



▶開院予定の新病院のイメージ図

大田市立病院は、平成11年に国から経営委譲を受けて開院して以来、大田市二次医療圏の中核病院として、また、政策医療を担う自治体病院としてその責務と役割を担い、皆様の命と健康を守るため、良質な医療サービスの提供に努めてきました。

国立病院時代に建設された施設の大半は築40年を経過し、老朽化による耐震性の不安や、度重なる増改築により、使い勝手の悪い建物になっていました。

そこで、患者さんの安全確保と質の高い医療サービスの提供、また、医療スタッフ働きやすい環境を整備



▲現在の大田市立病院

するため、新病院を建設することが決定しました。

### 建設に向けて

平成24年度、新病院の目指す方向等を示す「新大田市立病院建設基本構想」を策定し、25年度には、その構想を基に基本設計を行いました。

その中では、

- ・建設地は現地での建替え
- ・診療科目は現行の20診療科を基本とする

・医師の配置数は、地域で必要度の高い疾病への医療を提供するため、30名程度の確保を目指す

### 新たな地域医療の中核病院を目指して

大田市立病院は、今年2月に満15年を迎えました。大田市と大田二次医療圏の中核病院として、住民皆さんの暮らしを支えています。

近年は、医師不足で診療に不自由をかけていますが、4月には4人の医師の赴任があり、大田総合医育成センターにも後期研修医2名が着任、6名の医師増で26名体制となりました。徐々にではありますが病院機能は上がっています。2月には病院ロゴマークも決まり、職員のよりどころも出来ました。

平成29年度には新病院がオープンする予定です。大田の医療、健康、福祉の拠点、「地域に開かれ、地域と共にある」病院を具現化していきます。昨今の医療を取り巻く環境は決して、たやすいものではありませんが、地域医療を支える自覚と誇りをもって職員一同まい進します。郷土の病院を見守っててください。



大田市病院事業管理者  
大田市立病院 院長 西尾祐二



・病床数は患者動向や人口推計から、現施設より55床減らした284床等としています。

新病院は新病院棟、エネルギー棟、付属棟、院内保育所の4つの建物で構成されています。新病院棟は地上5階建てで、1階には主に外来機能(救急、検査、薬剤、放射線等を含む)を配し、2階は管理部門や手術室、透析、健診等、3階から5階は病棟としています。平成27年度から病院本体の建設工事に着手し、29年度中の開院を目指しています。

## ロゴマーク決定

大田市立病院では、開院15周年を記念し、平成26年2月にロゴマークを作成しました。

ロゴマークは全国から募り、昨年10月から12月にかけて、643点の応募がありました。

市立病院の全職員の投票や選考委員会による審査を経て、大阪府在住のマカロン(ペンネーム)さんの作品(左図)を市立病院のロゴマークとして決定しました。

市立病院では、職員が名刺に付いたり、イベントで使用する法被の背中に大きくデザインし、PRしていく予定です。

▲大田市立病院の頭文字「大」をモチーフに、人が躍動するイメージでデザインされています

ます。

このロゴマークを旗印に新しい病院づくりに向け職員が一丸となっています。



## 病院祭の開催

地域と共に歩む市立病院は、積極的に情報発信を行う等地域に開かれた病院づくりを進めています。

現在は、病院広報誌「銀の風」やホームページからの情報発信のほか、地域に出かける取り組みとして、



▲出前講座の様子

病院職員が病気や健康について説明する「出前講座」や院長自ら病院運営について講演する「お出かけ院長室」を実施しています。

「広げよう地域の輪」15年分のありがとう

地域の皆さんに病院をもっと知ってもらうため、また、触れ合う機会を創るための新たな取り組みとして、「広げよう地域の輪」15年分のありがとうをテーマに、11月16日に病院祭を開催します。

開催にあたり、各部署から若手職員が集い、企画室

を立ち上げ、内容を検討しています。

「初めての試みであり、試行錯誤の連続ですが、病院を想う強い気持ちと来ていただく皆さんとの出会いを楽しみに準備を進めています」と若手職員は熱く語っていました。

多彩な企画盛りだくさん

当日は、メタボリックシンドローム診断や血管年齢チェック、骨密度測定、救急体験としてAED講習、介護予防の運動指導等を行います。

また、日頃は入ることのできない手術室や検査室、画像診断室等を巡る院内探検隊も企画されています。さらに、日頃あまり感じることのない自然放射線の測定も行う予定です。

地域医療を支える市立病院を楽しみながら知る内容が出来る内容となっています。

# 「ミュージアム竹下成果工場」(波根町)開館!

ドイツを中心に活動している画家、寺田琳さんが、波根町の空き家を自ら改築し、8月1日「ミュージアム竹下成果工場」を開館しました。

寺田さんは、ここをアトリエや展示会場など、様々な用途での活用を構想しています。ここでの活動を通して、世界と日本の芸術文化の懸け橋となることを目指しています。



▲「ミュージアム竹下成果工場」の建物全体が寺田さんの作品となっています

アート・イベント・島根  
2014開催

開館と同時に8月末まで、「アート・イベント・島根2014」が開催されました。

開館初日は約400人の来場者がありました。バニサージ(オープンングセレモニー)には、地元のパーマニカクラブの演奏があり、多くの来場者を楽しませていました。

アート・イベントでは、寺田さん自身の作品だけでなく、プロ、アマを問わず、



▶寺田さん自ら造った壁面に300点の展覧作品が並べられました

全国各地やドイツ、スイスといった国内外アーティストが出展した300点の様々なジャンルの作品が展示されました。

島根から世界へ

出展作品の中から優秀アーティスト23名(うち大田市の方4名)の作品は、10月中旬からベルリンのギャラリーで展示され、「ミュージアム竹下成果工場」は、世界に向けて芸術を発信する場となっています。

また、9月から10月末までは、2006年ケベック博覧会(カナダ)で展示された横幅20メートルの寺田



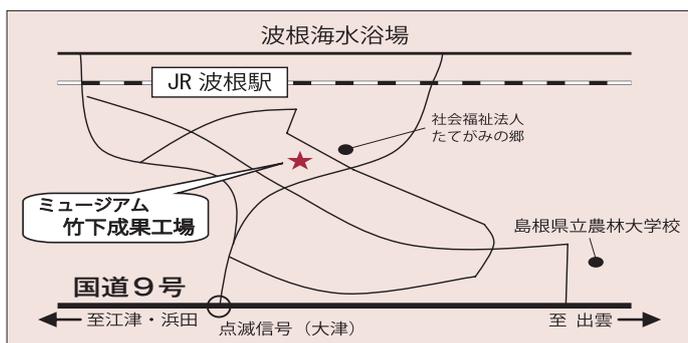
▲イベント期間中には、ワークショップなども行われました

◀日本で初公開された20メートルの作品が展示されました



さんの大作2点が日本で初めて展示されました。20メートルの直線部分が展示場に無いため、分割して展示をし、出来るだけ全体が鑑賞できるように工夫がされました。

今後は、11月に「クリスマスマルクト」が開催される予定です。「このような芸術を含め様々なイベントを今後開いていきたい」と寺田さんは熱く語っています。



## クリスマスマルクト

○日時：11月28日(金)、29日(土)、30日(日)  
10:00~17:00

○入場料：200円

○場所：ミュージアム竹下成果工場  
(大田市波根町1254-2)

【問】 ☎090-4102-2201 (山内)

E-mail: info@takeshitaseikakojyo.com

大田が唯一？のネタをご紹介します

# ここだけ 大田

## うどん豆腐

今回は、大田市の伝統的な行事食のひとつ「うどん豆腐」を紹介します。

大田地方では、いつの頃から始まったのか定かではありませんが、仏事には必ずこの「うどん豆腐」を作ります。一般には茶飯と青菜のひたし、うどん豆腐を組み合わせて供します。

※出典：「いつまでも伝えたい味と産物」  
(昭和62年3月刊)



### 作り方

材料 とうふ、だし汁、おろし生姜、きざみのり、塩、薄口醤油、水とき片栗粉

※しいたけを細く切って入れる場合もあります

- ①豆腐をうどんのように細長く切っておく。
- ②だし汁の中へ①の豆腐を入れひと煮立ちさせ、塩と薄口醤油で、味をととのえた後、水とき片栗粉を入れとろみをつける。
- ③おわんに盛って、きざみのりとおろし生姜をのせる。

レシピ提供：茶店ギャラリー 野の花 和田 直美さん（大田町）

## にし た くず 西田葛

### 伝統の食の技が生きている

温泉津町の港と石見銀山（大森町）を結ぶ銀山街道の道中に西田という集落があります。

西田集落は、「ヨズクの里」と呼ばれ、その昔、“西田千軒”と持て囃され、矢滝城の裾野にある宿場町として繁栄していました。今でも、往時の面影を残す街道沿線には、棚田景観が広がり、秋の収穫時期には、全国でここだけという稲ハデ「ヨズクハデ」が姿を現します。

豊かな野山に恵まれた西田は、約700年も前から「葛」の生産が行われています。瑞泉寺第12世自願師が吉野葛の精製法を伝え、100%の葛が作られるようになり、銀山街道を通じて全国に知れ渡りました。

昭和40年頃、生産は一度、中止となりましたが、今では、地元の高齢者が主体となった葛生産組合が、わずかな幻の「西田葛」作りを行っています。



晩秋の野山に自生する葛の根（イノコ）を掘り起こして叩き、1月から2月に寒の山水でさらし、沈殿した葛粉を木綿の布で濾す作業を約20回繰り返し返します。沈殿物を乾燥させると、100%の「葛」が完成します。

昭和初期には、島根県特産品として天皇陛下へ献上されたこともありま。

葛粉は、葛湯、葛餅、胡麻豆腐などに欠かせない材料で、江戸時代には飢餓を救う救済食でした。添加物の無い、純粋な「西田葛」、「白いダイヤ」ともいわれる希少な一品です。西田集落などのイベントでは、葛粥弁当（左写真）が振る舞われます。

# 大森の古民家から 広がる夢

江戸時代の情緒を今に残す町「大森町」。

今回はその世界遺産の町へターンし、世界中で魔法のコーヒーと絶賛される「カリアーリ」のコーヒーの総輸入元を務める大野雅之さん、そしてそのカリアーリのコーヒーを紹介します。



## 魔法のコーヒーを日本で

「『よう来たね』と優しく声をかけられ、地域にすんなり溶け込むことができた」

そう話すのは東京からIターンし、大森町の古民家に「カフェ・カリアーリ」を開いた大野雅之さん。

カリアーリのコーヒーは繊細な香りと上品な味わいが特徴であり、「魔法のコーヒー」として世界中で絶賛される逸品です。

大野さんには、自分が魅せられたカリアーリのコーヒーを日本国



エスプレッソを飲みなれない人にも自然と好まれる魔法のコーヒー。  
1杯350円。

内でも多くの人に味わってもらいたいという思いがありました。

## 100年以上の

### 知恵と伝統の一杯

カフェ・カリアーリ社は1909年にイタリア、モデナで創業した伝統あるコーヒーブランド。カリアーリ家は4世代に渡ってコーヒーの原点と秘伝の生産方法と経験を受け継いできました。

独自の手法で生み出したブランドは、世界中で絶賛されるほどの逸品で、世界的な著名人にも高く評価されています。その門外不出の秘伝のレシピに従ってブレンドされたエスプレッソの品質は、イ



## 大野雅之さん

昭和60年、東京都東村山市生まれ。カフェ・カリアーリの日本唯一の総輸入元として平成21年に大田市大森町の古民家に事務所兼直営カフェをオープンさせる。現在は大田市内に妻と息子と共に暮らしている。

タリアエスプレッソ協会からも認定される本物です。  
カフェから家庭まで、イタリアは勿論、イタリア国外でも楽しめるコーヒーメーカーのひとつとなりました。

## 偶然から世界遺産の町へ

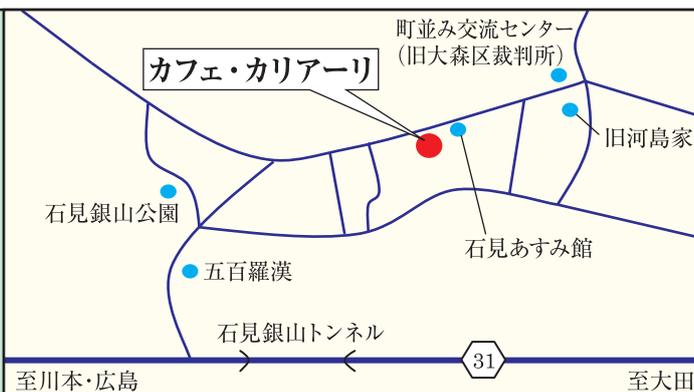
事務所は東京をを考えていましたが、東京はどうしても家賃や人件費が高く、結果としてコーヒー代が高くなってしまふことをイタリアの本社が好みませんでした。そこで、全国の田舎での拠点探しを始まりました。

各地の写真の中で本社が目留

## カフェ・キャリアーリ本店 (山内交易株式会社)

〒694-0305  
鳥根県大田市大森町ハ151-1  
TEL : 0854-89-0818  
Web : <http://www.caffecagliari.jp/>

石見銀山公園駐車場より徒歩10分  
※カフェ・キャリアーリ本店には駐車場はありません



古風でどこか懐かしい雰囲気店内。エスプレッソを身近に感じて欲しいので、お客様に実家に帰った気分を足伸ばしてコーヒーを味わってもらいたいという大野さんのこだわり。持ち込みも問題ないし、昼寝をしてもOKとのこと。

めたのは、大森町の古民家の写真。それは江戸時代から続く曾祖母の空き家でした。そんな偶然に導かれ曾祖母の名前を取って「山内交易」を設立しました。

イタリアのカフェ・キャリアーリの日本の総輸入元であり、貿易業務からブランディングや販売まで行います。そして、石見銀山の町、大森町では「カフェ・キャリアーリ」というカフェも運営しています。「貿易」ではなく「交易」にしたのは、物ではなく、人々との交流を意識したからだそう。

本年4月には、イタリアのカフェ・キャリアーリ本社からアルベルト会長が来日。竹腰市長を表敬訪問し、大森町の同社を視察。

山内交易が事務所兼直営カフェを構える古民家を見た会長は「自然と文化を大切にしているキャリアーリのコンセプトにピッタリで落ち着いた環境はオアシスの様だ」と誇り、同社の雰囲気に満足された様子でした。また、竹腰市長も「世界遺産の町に拠点を置いていただけるのは光栄なこと」とキャリアーリのコーヒーを味わいながら歓談しました。

現在、キャリアーリのコーヒーは

直営カフェ以外でも市内の飲食店数店で提供・販売されています。9月1日からは大田市役所1階の喫茶店「HOPE WIN」で取扱いが開始されました。これに伴いリニューアルオープンし、営業時間も拡大しています。

### 大田市へのU・Iターンについて

今後U・Iターンを考えている人へは「東京も大田市もそれぞれ長所があるから比較はできないが、海や山に囲まれて生活したい、地域の人たちと協力して活動したいといった、いわゆる『田舎らしさ』に魅力を感じるのなら大田市は期待を裏切らないと思います。それに、交通などで特別不便は感じません」と語ってくれました。また「週の半分は県外にいますが、鳥根に戻ると冷静に情報を整理でき、お店でお客様と話す心が、新しいアイデアは全て鳥根で生まれました」と笑顔で話してくれました。

銀の交易で栄えた世界遺産の町、大森町から大野さんの夢は広がります。



## 大田市観光キャンペーン

# 『石見銀山ウォーキングミュージアム』(7/18~12/7)

大田市全域で観光客を受け入れ、満足してもらい、大田市内の観光振興・産業振興につなげていくことを目的として実施中です。

「ウォーキングミュージアム」のネーミングは「歩く観光」から来ています。ここでいう「歩く」は、単に歩くことを意味したものではなく、「食べ歩き」の「歩く」のように、「巡る」という意味を持っています。

### 石見銀山らとちゃんバス

松江・出雲と石見銀山を結ぶ「石見銀山らとちゃんバス」を運行

- ・ 9/6～12/7の土・日・祝日
- ・ 乗車券(2日間有効) 大人3,000円、小人1,500円
- ・ 石見銀山4館共通チケット付き(1,000円相当)

※4館…石見銀山世界遺産センター/石見銀山資料館/重要文化財熊谷家住宅/代官所地役人旧河島家

※大森町並み各店でうれしい特典あり

【問】一畑トラベルサービス ☎0852-21-0277

### 石見銀山観光ワンコインツアー

ガイドと一緒に世界遺産を存分に楽しむツアー

①龍源寺間歩ツアー

- ・ 3～11月 毎日2回 10:30～12:30/13:00～15:00
- ・ 12～2月(元日を除く)毎日1回 10:30～12:30

・ 集合場所:石見銀山ガイドの会事務所前

②大森町並みコース(12/29～1/4は除く)

- ・ 毎日1回 10:30～12:30

・ 集合場所:大森代官所跡前

※ガイド料:大人500円、小中学生100円(入場料・入館料別途)※事前予約可

【問】石見銀山ガイドの会 ☎0854-89-0120

### お楽しみスタンプラリー

- ・ 7/18～11/30

市内の観光施設や飲食店、宿泊施設などに、大田市マスコットキャラクター「らとちゃん」のスタンプが設置してあります。期間中、スタンプを集めて応募していただくと、抽選で特産品などの素敵な賞品が当たります!

【問】大田市役所観光振興課 ☎0854-88-9237

### ゆのつ夜神楽定期公演

温泉津で毎週土曜日迫力の神楽を堪能!

- ・ 3月まで毎週土曜日20:00～21:00

※12/27、1/3は休演

※新春神楽(1/3)を予定

【問】温泉津温泉旅館組合 ☎0855-65-2515

## 大田市マスコットキャラクター

# 『らとちゃん』活躍中!

「ゆるキャラ®グランプリ2014」に、大田市のマスコットキャラクター「らとちゃん」が“出馬”しました。昨年は1580体のうち123位でした。今年には1698体がエントリーして、決選投票まで激戦が予想されますが、「目指せ、100位以内」と決意表明しました。

グランプリの投票期間は9月2日から10月20日まででした。11月1日～3日に、愛知県で開催される「ゆるキャラ®グランプリ2014 in あいちセントレア」で、上位100キャラクターにより決選投票及び表彰式が行われます。らとちゃんは念願の100位以内が叶うか?引き続きらとちゃんの応援をよろしくお願いします。

「らとちゃん」は大田市内外のイベントで大活躍をしています。6月13～15日には、環太平洋の文化の共有と国際親善を目的にハワイで開催された「フェスティバルまつりインハワイ」のまつりパレードに参加。

三瓶高原クロスカントリー大会、「仁摩で恋活」イベント、夏祭り天領さんなどにも出演。これからも、いろいろな所で活躍します!



▲ハワイではオープンカーに乗り、大田市をPR

ゆるキャラグランプリ2014に向けて気合十分!

## シリーズ石見銀山⑳ おきとまりえびすじんじゃ 沖泊恵比須神社 —石見銀山の積出港に建つお社—

現在大田市では、地元関係者と協力して史跡石見銀山遺跡地内における寺社建造物の保存修理を進めています。そのなかのひとつが今回紹介する恵比須神社です。石見銀山最盛期の銀の積出港としても知られる沖泊（温泉津町）に位置します。事業費には、国・県・市といづも財団、石見銀山基金の補助金を充てています。

恵比須神社は事代主命ことしろぬしのみことをお祭りし、沖泊の人々や、諸国より入港する船人から篤く信仰されてきました。由緒は詳らかではありませんが、古い記録には、大永6年（1526）に筑前國那賀郡芦屋浦（現在の福岡県遠賀郡芦屋町）の住人えびすが蛭子の神の神託によって沖泊（蛭子浦）へ入港し、沖泊の浦人へ社殿を造営させたと記されています。また『銀山旧記』によると、大永6年という年は、博多の豪商神屋寿禎が銀山を発見（再開発）した年にあたり、このことから石見銀山との関わりが想像できます。



▲（左上）恵比須神社本殿と拝殿、（左下）本殿の解体中、（右）拝殿

社殿は港近くの小高い傾斜地に建ち、本殿は港の方角へ正面を向け、拝殿の港側の側面には豪快な彫刻が刻まれています。いかにも船人からの視線を意識した造りとなっており、他に類を見ないものです。

現在、本殿と拝殿を全て解体して修理しており、建物の柱や梁、屋根瓦などひとつひとつを丁寧に取り外し、補修しています。建物の解体を進める中で、普段見ることのできない当時の職人の技術や修理の経過が明らかとなりますが、こうした発見も修理にあわせ、写真を撮り図面化するなどして記録しています。史跡内建造物の保存修理を進めるなかで、世界遺産・石見銀山遺跡を構成する文化財が維持されるとともに、様々な発見によってその歴史も深まります。

修復を終え、再び社殿が見られるのはおよそ一年後となります。

## らとちゃん劇場⑤

マッチ売りの少女 VS らとちゃん



▶三瓶高原クロスカントリーで激走中



# 大田市の神楽団 大屋神楽社中

(大田市大屋町)

大屋神楽社中は、大田市のほぼ中央に位置する大屋町に拠点を置く神楽団体です。社中の創設は、元治元年（1864年）とされ、これまで一度も絶えることなく今に伝えられています。

大屋町内には、明治時代、鬼村神楽を継承する団体も存在していました。しかし、大正8年に静間村和江海岸での上演の最中に大波に遭い、神楽衣装が流されてしまいました。その後、鬼村神楽は大屋神楽に統合され、現在大屋町には大屋神楽だけが継承されています。現在は町内外の10～70歳代約30人が在籍して、週に2回の練習に励んでいます。



▲「天神」を舞う様子



▲結成150周年記念公演「大屋舞」で「大蛇」を舞う様子

舞の特徴は、県東部に伝わる出雲神楽（六調子の優雅な舞）と、県西部に伝わる石見神楽（八調子でテンポの早い舞）の折衷的舞であることです。また、演目においても、出雲系・石見系それぞれの演目を保持しています。

今年、社中結成より150年目を迎えたことから、6月1日に結成150周年記念公演を、大屋ふれあいセンターにて開催しました。約1年前から実行委員会を立ち上げて各種準備・調整を行いました。公演当日は、招待社中として3つの神楽団にゲスト出演していただき、朝9時から夕方6時まで全12演目を上演しました。関東や九州など県外からの観客も含め500人以上の来場者があり、人口約400人の町での一大イベントとなりました。

これからも、地域の伝統芸能である神楽のさらなる発展や保存に向け、社中一丸となって活動していきます。

**耳**より  
情報局

## 「地域おこし 協力隊員」 募集中!!

- 観光産業の振興を目的として、情報発信や各種イベントの企画・実施などに従事する隊員（1名）
  - 「誇りと愛着、夢と元気のある富山」の実現を目指し「富山グレードアッププラン」の企画・立案・運営を行う隊員（1名）
- 応募要件や業務内容など詳細は大田市ホームページ

<http://www.city.ohda.lg.jp/tag/700/>をご覧ください。

【問】 大田市地域振興課  
☎0854 - 83 - 8031

## 『ふるさと寄附金』をしてみませんか？

ふるさと寄附金とは、ふるさとの自治体に寄附をした場合に、寄附金額に応じて所得税・個人住民税から控除される制度です。

大田市では、「どがなかな大田ふるさと寄附金」制度として寄付をすることが可能で、寄附をされた方には、金額に応じて大田市の特産品を贈呈しています。また、12月1日より、クレジット決済による振込みができるようになり、申し出や振込みが簡単になります。

「生まれ育った懐かしい大田市に貢献したい」、「大田市出身ではないけど、応援したい」

という思いを、寄附金を通して実現してみませんか。

【問】 大田市地域振興課定住推進室

☎0854 - 83 - 8029

大田市ふるさと寄附金ホームページ

<http://www.city.ohda.lg.jp/tag/1164/>

みんな待っとなでな～

# おおだ 情報BOX

## 時の祭典

12月31日(水) 21:30～1月1日(木)

・仁摩サンドミュージアム

世界最大の1年計砂時計を、来年の年男男女計108人が綱を引いて回転させ、新しい年を迎えます。年越しと同時に約1,000発の打ち上げ花火も上がり、新年の夜空を彩ります。

【問】仁摩サンドミュージアム

☎0854-88-3776



## 五十猛のグロ

1月11日(日)～15日(木)

・五十猛町大浦地区

20メートルほどの竹の柱を中心とする大型で独特の仮屋をつくり一年の豊漁や無病息災を祈願する「とんど」行事です。国指定重要無形民俗文化財。

【問】五十猛まちづくりセンター

☎0854-87-0026

## 御日待祭り

2月14日(土)

・巖島神社(温泉津町小浜)

夜通し火をたき、「寝たら起こせ王子や王子、五朗の王子」と叫びながら町を練り歩きます。神社では拝殿に上がり、「王子や王子、ゴーロさんの王子」と叫びながら座板が割れるまで飛び跳ねます。

【問】大田市役所温泉津支所 ☎0855-65-3111

## 新春神楽・子ども神楽発表会

(宅野子供神楽保存会)

○新春神楽

1月1日(木)、2日(金)、3日(土)19時30分頃～  
※毎年、三が日の午前中は獅子舞を舞って各戸を巡回します。

○子ども神楽発表会

2月11日(水) 9時30分～12時頃まで

場所 仁摩伝統芸能伝承館

約270年以上の伝統を受け継ぐ宅野子ども神楽。舞から奏楽までのすべてを小中学生だけで行います。子どもたちの迫力ある演技をお楽しみください。

【問】宅野まちづくりセンター

☎0854-88-9511

## 新春神楽(温泉津)

1月3日(土) 17時～22時

・温泉津まちづくりセンター

石見神楽温泉津舞子連中と京都瓜生山舞子連中の共演による華麗な新春の舞いをお楽しみください。

【問】小林工房 ☎0855-65-2565

## 大田市成人式

1月4日(日)

・大田市民会館 大ホール

【問】大田市役所社会教育課 ☎0854-83-8125

## さんべ志学の雪あかり

2月中旬

・三瓶温泉街周辺

心あたたまるやさしい光が湯のまち志学をつみます。

小さなかわいい“かまくら”にキャンドルの明かりが灯る「雪あかり」。きらめく無数の灯火があなたを幻想の世界にいざないます。

【問】さんべ志学の雪あかり実行委員会

(事務局：志学まちづくりセンター

☎0854-83-2167)



# ふるさとは今

## 琴ヶ浜盆踊り【仁摩町馬路<sup>まし</sup>】

琴ヶ浜の盆踊りは、大田市の無形民俗文化財に指定されている歴史のある盆踊りです。

昭和30年頃には、臨時列車も走り、何千人もの踊りの輪が出来たほど島根県でも最大規模の盆踊りでした。当時は、お盆をはさみ7日間、浜いっぱい踊りの輪ができ、明け方まで踊っていました。

琴ヶ浜盆踊りには、願成就<sup>がんじょうじ</sup>・一ツ橋<sup>ひとつばせ</sup>・思案橋<sup>しあんばせ</sup>の三様の踊りがあります。音頭とはやしは五種あり、音頭と踊りを適宜切り替えながら、句説き手も輪になって踊ります。その様は他地域では見ることができない盆踊りです。



(上) 琴ヶ浜の海岸  
(右) 盆踊りの様子



時代の流れとは言え、昔より、勢いがなくなってきたことを残念に思います。しかし、最近では、20代から30代の若手有志が「やっちょこの会」という団体を立ち上げ、様々なアイデアを出し合いながら、句説きや太鼓の練習等に情熱を燃やして取り組む姿は嬉しい限りです。低調になったものの、三夜連続夜の9時から明けの午前3時頃まで踊れるのは伝統の力と言えるでしょう。先人が残してくれた立派な大田市無形民俗文化財に誇りを持って後継者育成のため、保存会挙げて地道に根気強く取り組んでいきたいです。

### 伝統を受け継ぎ 未来へ



馬路琴ヶ浜 盆踊り保存会  
会長 渡邊 徳康さん (83歳)

# おおだ空き家情報

平成26年9月17日現在

Uターン、Iターンなど定住についてのご相談や空き家情報についてのお問い合わせは、『おおだ定住支援センター』までお願いします。

空き家物件の現地案内もいたします（物件所有者との調節が必要ですので、必ず事前の連絡をお願いします）。

今回掲載されていない物件もあります。詳しくはお問い合わせください。なお、空き家情報は“おおだ”定住サイト『どがどが』でご覧いただくことができます。

おおだ定住支援センター〈大田市役所地域振興課定住推進室 ☎0854-83-8029〉に相談ください。



川合町 売買600万円

UIターン者優先の物件です。市立病院までは車で5分ほどの場所にある庭付きの日当たりの良い建物です。



久手町 売買550万円

海岸部に位置する小家族向けの住宅です。徒歩で1分ほどの所にJR駅があり、日常生活に便利な場所にあります。



温泉津町 売買380万円

UIターン者優先物件です。大田市西部の海岸部に位置する日当たりの良い小家族向けの住宅です。

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行／大田市役所政策企画部地域振興課定住推進室 TEL:0854-83-8029 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-tiiki@iwamigin.jp http://www.city.ohda.lg.jp/

“おおだ”の定住サイト「どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/

どがどが 検索